

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	田川流域地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県（代表） 日光市	（栃木県）90000 （日光市）92061	1	平成23年度～ 平成27年度	平成23年
活性化計画の区域				
田川流域地区活性化計画は栃木県日光市田川流域地区の受益55.0haを計画区域とし、本事業により農地の集団化を図り、基盤整備事業を円滑に実施し、後継者が積極的に農業に取り組める条件の整備と農業経営の向上の発現により、担い手が意欲を持って定住できる環境を整え、現在（平成22年度）の集落戸数2950戸を維持することを目標として策定したものである。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1年	1年	100%	

<p>（コメント）</p> <p>計画作成時における目標を達成できた。</p> <p>平成22年度の集落戸数2950戸を維持することを目標とし、平成28年3月現在の集落戸数を確認した結果、237戸増の3187戸であった。</p> <p>また、基盤整備促進事業である経営体育成基盤整備事業田川流域地区について、目標どおり本事業実施後1年以内に着手することができた。</p>

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
基盤整備（農用地等集団化）	経営体育成促進換地等調整事業 A=55ha		栃木県土地改良事業団体連合会
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
	平成23年度	平成23年度	
事業の効果			
経営体育成促進換地等調整事業を実施したことにより、平成24年度に農地整備事業（経営体育成型）を円滑に着手することができた。			

3 総合評価

(コメント)

[日光市]

経営体育成促進換地等調整事業は、農業基盤整備事業に必要な事業であり、本事業の実施が、農業基盤整備の円滑な実施に繋がったと思われる。

今後の農業基盤整備事業が確実に実施されることで、田川流域地区の活性化及び定住の促進が期待される。

[栃木県]

本事業により農地の集団化が円滑に進み、基盤整備事業が着手されたことで、農作業の効率化・省力化が図られ農業経営の向上が期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

本地区内の田畑、農道等の基盤整備を実施することにより農業の活性化を図るため必要なことであり、今後の地域の発展に繋がると期待が持てる。